

製品名: TNFSF9 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82634**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFSF9
別名	CD137L; TNLG5A; 4-1BB-L
遺伝子 ID	8744.0
SwissProt ID	P41273
免疫原	大腸菌で発現したヒト TNFSF9 (AA: Extra (50-254)) の精製組換え断片。

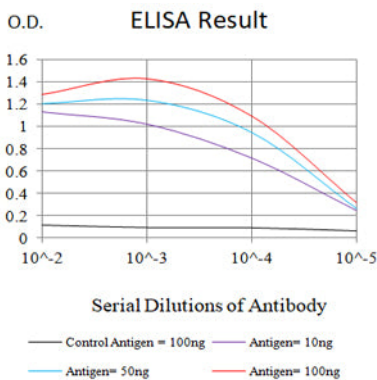
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンドファミリーに属するサイトカインです。この膜貫通型サイトカインは、Tリンパ球の共刺激受容体分子である TNFRSF9/4-1BB のリガンドとして機能する双方向シグナル伝達物質です。こ

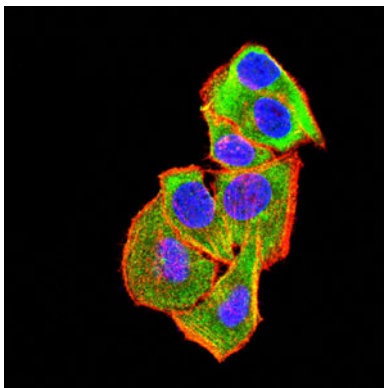
のサイトカインとその受容体は、抗原提示プロセスと細胞傷害性 T 細胞の生成に関与しています。受容体 TNFRSF9/4-1BB は休止期 T リンパ球には存在しませんが、抗原刺激により急速に発現します。この遺伝子によってコードされるリガンド TNFSF9/4-1BBL は、T リンパ球の増殖を促進するだけでなく、アネルギー T リンパ球を再活性化することが示されている。このサイトカインは、CD8 T 細胞における最適な CD8 応答に必要であることも示されている。このサイトカインは癌細胞株で発現しており、T 細胞と腫瘍細胞の相互作用に関与していると考えられています。

研究分野

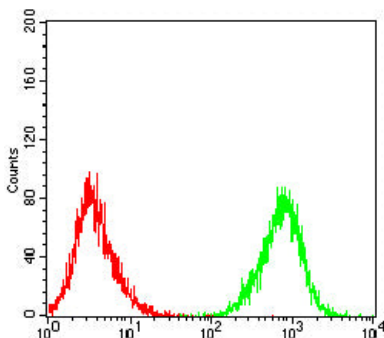
画像データ



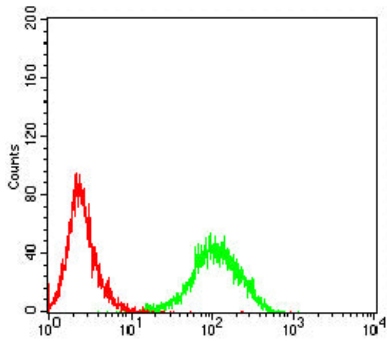
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



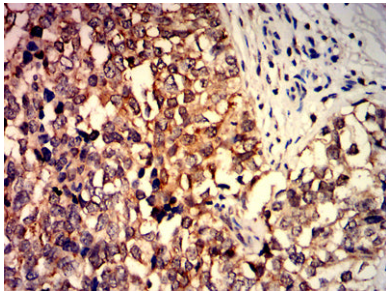
TNFSF9 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



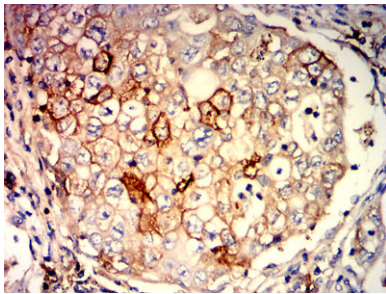
TNFSF9 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。



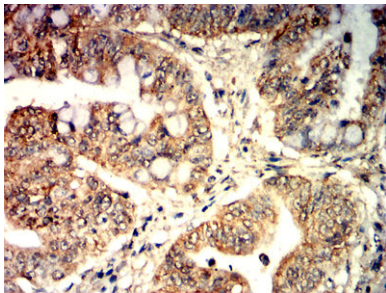
TNFSF9 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Jurkat 細胞のフローサイトメトリー分析。



TNFSF9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



TNFSF9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



TNFSF9 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。